



SUPPORTERS CLUB NEWS

友の会会報

TAKAYAMA-UICHI MEMORIAL MUSEUM OF ART

〒039-2501 青森県上北郡七戸町字鷹山宇一記念美術館内
TEL.0176-62-5858 FAX.0176-62-5860
e-mail.takayama-museum@town.shichinohe.aomori.jp



鷹山宇一『編み物をする女』〈木版〉1927年12月 14.5×10.5cm 【個人所蔵】

…… ミュージアムコレクションから④
鷹山宇一『編み物をする女』……

鷹山宇一が画家としての出発点において専らにしていたのが「木版画」であったことを、知る人はおそらく少ないであろう。1930年第17回二科展に出展した作品すべてが木版画で、このうち『都會風景』『風景を配せる静物』の2点が初入選をした。今日、これら作品の所在は不明で、印刷物に収録された資料よりほかに知る術はないが、それは、当時の洋画界の最先端を行くシュールレアリスム風の非常に精巧で手の込んだつくりであり、青森市出身の版画家・関野準一郎の言葉を借りれば「刀とパレンで緻密な油絵を描き上げたと考えられる作品」(『版画を築いた人々』)であったという。

「鷹山宇一木版處女作 巢鴨宮仲三 一九二七年十二月 絶版」

ここに紹介した木版画はシュールレアリスム風のそれとは異なり、あの輝かしい中央画壇デビューの3年前、まさに画家を志し上京をした当年に制作されたものである。待ちに待った大都会での生活は刺激にあふれ、画家としての方向性を探るあらゆる試みがなされたことだろう。

処女作として取り上げられたモチーフは「編み物をする女性像」、何気ない日常の一コマである。しかし、木版ならではの刷りの風合と相俟って、作品はあたたかな空気に包まれ、そこには幸福感にも似た優しい時間が流れている。大切な「誰か」のための編み物だろうか？彼女の心情に思いを馳せ、想像はさらに膨らんでいく。

後に続く木版画すべてがそうであるように、刷れば何枚でも作品となる「版画」ではなく、鷹山は気に入った一枚しか遺さなかった。「絶版」とはそのようなわけで、独自の「鷹山イズム」はすでにこの処女作から確固として、綿々と貫かれていく。

78年前の12月、今、この瞬間かもしれない。鷹山版画第1号が誕生した。

(宇云 大内 里希子)

2005年第二回友の会研修旅行 2005年10月23日

仙台市博物館「円空さん」ほほえみの仏像展」と宮城県立美術館「大原美術館名画の宝石箱展」を訪ねて

楽しかった仙台研修旅行

七戸町／布施彦一

◆仙台博物館見学

仙台駅からタクシーで博物館到着。黄色い円空さんのポスターが笑っている。酒井学芸員の親切な説明と盛田さんの厚みのある質問に驚く。

展示会場へ一歩二歩。円空、円空、円空。すごい、すごい、あつ！聖徳太子童子像だ、見る、太子童子像が動いたようだ、もう一度見る、やっぱり動いたようだ。(そんな気がしたのだろう。)再び歩く、なつかしい、おだやかな優しい香りがしてくる。

来てよかった。会えてよかった。二度と感ずることのない円空空間、ありがとう円空さん。

◆宮城県立美術館見学

(大原美術館展)

博物館からタクシーで美術館へ。



円空展会場入り口にて

オッ！見上げるような塔、松田学芸員のくわしい説明、歩く、見る。ウツ！ムンクだ、すごい、一緒に叫びたくなる。歩く、とうとう会えた、夢にまで見たモジリアニの本物。さわりたい、ほしい、やさしさが伝わってくる。又歩く、今、私は絵空間の林を通っている。グワツ！ルオ！

の道化師だ、ピカソがいる、マチスがいる、ルソーだ、すばらしい、一日中この空間を歩いていたい。

◆佐藤忠良記念館見学

好きな彫刻を見る楽しさ、佐藤忠良さんの彫刻はその一つだ。特に帽子やマントの像、幼児像が好きだ。一つめのブロンズを見た時、思わず「いいな」の一声。二つめを見たとき、「やっぱりいいな。」次から次といい感じが伝わってくる。もう一度振り返る、「やっぱりいいな。」見終わって再度通の塔を見る。「こんな塔を考える彫刻家の頭の中はどうなっているんだろう」とことばが出る。受付嬢・・・私を見て「にやり」と笑った。

楽しい楽しい一日でした。又、異空間の旅へ連れて行って下さい。



宮城県立美術館内 広いロビーで記念写真

鷹山宇一記念美術館の友

研修旅行へのお誘い・訪ねたい美術館募集

★友の会では、毎年県内及び近隣の美術館を訪ねる研修旅行を実施しております。平成18年度も皆様に喜ばれる美術館、企画展を訪ねる研修旅行を実施しますので、会員のご参加をお待ちしております。

★研修旅行について、是非とも訪ねたい美術館、博物館や展覧会がございましたら、美術館内友の会事務局までお知らせ下さい。

★1泊程度の研修旅行も役員会で話題になっております。

研修旅行のご意見は美術館(電話0176-62-5858)までどうぞ



「遊蝶記」から

鷹山宇一先生誕生記念日

時の流れは早いもので、1999年10月25日の鷹山宇一先生ご逝去から6年の歳月が経ちました。お元気な頃「誕生日をととても楽しみにしていた」とのご家族のお話をお伺いして、当美術館では12月10日の誕生日を「遊蝶記」として記念し、先生を偲ぶ一日を過ごしています。



▲「遊蝶記の集い」には友の会会員をはじめとする30名がご出席くださいました。
 ▶「遊蝶記」開催にあたりお礼の言葉を述べる館長の鷹山ひばり。鷹山先生の「画家をやめたなら古美術商になりたい…」ご家族に語られたエピソードも披露されました。

鷹山作品に必ず描かれている「蝶」、作品名も「遊蝶・花」と題されたものも多く、「蝶」は重要なモチーフの一つです。「遊蝶記」は、先生の代名詞的なその名を頂戴し、「記憶」「記録」「記述」のように、憶えておく、書き記しておくとの意味合いを込めて命名されています。また一年の締めくくりにあたる師走に、あらためてこの一年を振り返り、心した事や新年へ向けての抱負などを語りあう

美術館収蔵資料から①

鷹山宇一をはじめとする当館収集作家への理解を一層深め、親しんでいただくこと、保管している資料を「ご紹介して参ります。今回は「鷹山宇一直筆原稿」から

『表紙絵に就いて』

二科会理事 鷹山宇一

花と蝶の、組み合わせによる絵を描き初めてから、もう永い年月を数えるのですが、何枚描いても、私にとつては楽しいものです。

色彩があまり豊富でなく、動きも少なかった当時の私の絵に、美しい彩を加え、小さな動きを與えてくれた蝶の存在は、何物にも換え難い貴重なモチーフでした。

それが次第に嵩じて、花ばかりでなしに風景にも、人物にも、何匹もの蝶を描かないと絵にならない、といふような幻覚をおこし、もうどの作品にも、どこかに蝶が舞っているといふのが現在の私の絵です。

永い日数と時間をかけて描き込むためか、多少絵が緊張する傾向がありますので、今後は、柔らかく、楽しい絵になるよう努力したいと考えてもいるのです。

※この資料の所収先は不明です。何か情報等ございましたら、当館までご一報いただければ幸いです。

◎美術館◎
休館日のご案内

◆年末年始◆
 12月30日(金)～新年1月3日(火)

◆館内整備休館◆
 2006年1月31日(月)～2月10日(金)

◆定休日◆
 毎週月曜日
 ※月曜日が祝日の場合は開館し翌日振替休館



に彩られ華やかな館内となった展示期間中は、まさに芸術の秋を堪能するひとときとなりました。有難うございました。

◎館内に「菊花」をご提供いただきました！

社団法人七戸町ふるさと振興会理事 長・宮澤公生様(株式会社御菓子のみやきん代表取締役社長、友の会賛助会員)のご紹介により、十和田市在住の下山鉄雄様から見事な菊の鉢植えをご提供いただきました。季節の花

特別展からレポート

第65回国際写真サロン展

第3回女性写真公募展

9月10日(土)～9月19日(日)迄

本年「女性写真公募展」と併催し開催した「国際写真サロン展」は、10日間という短い会期ではありましたが、多くの写真愛好家で賑わいました。9月11日(日)には、全日本写真連盟関東本部委員・中村敏子先生を講師としてお招きし、同連盟青森県本部主催による写真教室とモデル撮影会が行われました。



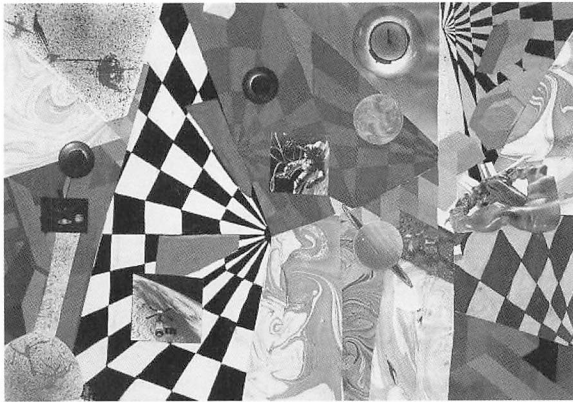
▲「第3回女性写真公募展」会場において、作品の解説をする中村敏子先生。本展審査のポイントなどお話しいただきました。

第5回 鷹山賞児童作品展

2006年1月29日(日)まで開催中

当美術館の根幹をなす大切な事業のひとつ、未来を担う子どもたちへ発信した「鷹山賞児童作品展」そして「地球環境世界児童画コンテスト優秀作品展」(主催 財団法人日本品質保証機構)が、11月20日(日)からはじまりました。

青森県南部地方小中学校児童生徒に作品を公募した「鷹山賞展」は、10月21日(金)に審査会を、11月19日(土)には入賞者授賞式を開催しました。審査会では、これまでで最高の970点という応募作品を前に、審査員長の



▲最高賞・鷹山賞は本年中学生の部から1作品のみ受賞『旅立ち』前田俊(三沢市立第五中学校2学年)

▼鷹山賞を受賞した前田俊君には当財団理事長青山浄晃から賞状と副賞が授与されました。

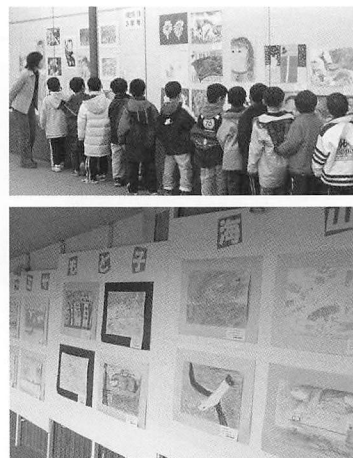


濱田進先生(二科会絵画部会員京都府在住)も気合い十分に審査に臨み、入賞28点・入選96点が選出されました。その栄えある入賞者を讃え行われた授賞式では、多くの来賓、保護者や関係各位が見守る中、一人ひとりに

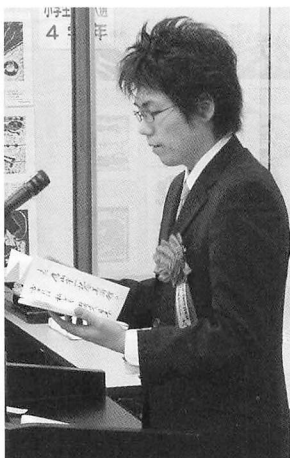


▲審査会での濱田進先生

◀(上)地元七戸小学校、城南小学校の子どもたちが学校の授業を利用して来館しました。
(下)本展会期中は当館主催ワークショップで制作した作品や、八戸市児童との交流事業「山海子どもサミット」からの作品も紹介しています。



賞状と副賞が授与されました。「鷹山賞展」は入賞・入選に輝いた全124点を新年1月29日まで、世界各国の子どもたちが地球環境をテーマに描いた「地球環境世界児童画コンテスト優秀作品展」70作品とあわせて展覧しています。是非鑑賞ください。



▶併催の「地球環境世界児童画コンテスト優秀作品展」を主催する財団法人日本品質保証機構理事長上田全宏様よりご祝辞を頂戴しました。写真は代読された同財団企画部調査課 太田雄一様。

子どもたちのための
ワークショップから
Report!!



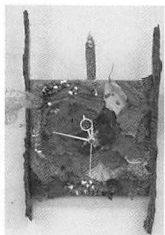
いちょうくらぶ
あ〜と!くらぶ

「いちょうつ子くらぶ」からは、10月22日のイチョウ時計づくりの様子をご紹介します。



講師は洋画家、二科会会員である濱田進先生です。聞き慣れない関西弁に子どもたちは緊張気味。この講座、自分がつくったものが時計になるということを最後にネタばらしする予定だったのですが、材料を見た子どもたちは時計だと気づいてしまいました。「みんな時計ってわかったん?」先生も驚きを隠せません。「わかったんならしゃあないな。つくろか。」

イチョウの皮や葉っぱ、木の実に付いていきます。すすきや木くずも使いました。楽しそうな声が部屋に響きます。濱田先生の奇想天外なアイデアを取り入れながら完成した作品は、一人一人の個性が光る作品とな



りました。素人とは思えない出来栄にびっくりでした。こんな時計がお部屋にあつたら素敵ですね。最後に記念撮影をして、京都に帰る先生をお見送りしました。濱田先生、楽しく、充実した時間をありがとうございました。

「あ〜と!くらぶ」からは、11月12日、木版画第6回目の様子を紹介します。



木版画最後の時間は、本物の年賀ハガキに作品を刷りました。今回は白黒ではなく、カラーインクを使用しました。青と黄色のグラデーション、赤と黄色のグラデーション。一度刷っただけなのに、多色刷りのようになってもカラフルで楽しい年賀状になりました。自分のサインを彫った消しゴムハンコを押すと、すっかり気分はお正月です。藤谷先生との別れパーティーで、それぞれ先生にお礼の言葉を述べ、「あ〜と!くらぶ」の版画制作は終了しました。先生には6月からの半年間、たくさんのごを教わりました。本当にありがとうございました。



博物館実習生からレポート!

「博物館実習」とは大学における学芸員資格取得のための必修科目で、博物館や美術館で実際の仕事を体験する、というモノです。的確で速やかな仕事ぶりが印象的だった大阪府出身の小川淳さんに感想を伺いました。



10月12日から23日まで、学芸員養成過程の博物館実習を鷹山宇一記念美術館で実習させて頂きました。実習を行う前は、博物館の裏側を「のぞく」というような、興味本位の思いがありました。大学で博物館(美術館)の仕事や役割をそれなりに理解しているつもりでしたが、学問として机の上で身につける学芸員養成課程の授業とは異なり、実際に資料を手にする事でより実践的な知識が身についたと思います。また、学芸員の仕事は資料の保存や収集、研究などが主な仕事だと思っていたので、日々の細かい作業から、何ヶ月も前から準備している企画展の仕事など博物館運営の為に様々な業務があるのだなど、実際の現場を見て感じました。

今回の実習では、他の博物館への資料の貸出しという珍しい機会に幸いにして恵まれ、資料(油彩画や掛け軸)の梱包及び展示の仕方を学習することができ、実際に資料そのものの扱い方や対処法などは、直接実物を扱ってみたいと理解できないと

いうことを知りました。さらに、期間中は自分がこれまで接することがあまり無かった社会人の人達から、為になる色々な話を聞くことができ、貴重な時間を過ごさせて頂きました。また、館のスタッフ皆さんの毎日いきいきと仕事をしている姿を見て、学芸員という仕事は大変やりがいのある伸び伸びとした仕事だと思いました。

12日間と短い期間でしたが、限られた時間の中で可能な限り多様なモノの扱い方を学び、充実した毎日を通い、自分にとって大いにプラスとなる良い経験だったと思います。

最後になりますが、鷹山宇一記念美術館の皆さんに実習指導をして頂き、大変お世話になりました。本当にありがとうございます。そして、こちらのわがままにもかかわらず実習期間を調整し、受け入れを承してくださった鷹山館長に深く御礼申し上げます。

小川 淳【北里大学4年生】



▶10月21日に開催の鷹山賞審査会にもお手伝いしていただきました。

● 美術館日誌 ●

【9月】

- ▼2日/七戸町立天間西小学校児童保育クラブ48名様、つがる市立稲垣中学校3学年61名様、東通村立尻劣小学校29名様ご来館。安野光雅展開催式出席のため岩手県盛岡市出張(鷹山館長、大池)
- ▼4日/「手塚治虫のふしぎな虫眼鏡展最終日(入館者17,265名)」
- ▼6日/展示替えのため臨時休館(〜9日迄)。手塚プロ展示物搬出作業。第65回国際写真サロン・第3回女性写真公募展作品搬入
- ▼7日/鷹山館長「あしゅまる会議」出席のため青森出張
- ▼8日/鷹山館長「生涯学習審議会」出席のため青森出張
- ▼9日/第65回写真サロン展ほか作品展示(協力:フォトしちのへ)。鷹山館長広域発信会議出席のため六ヶ所村出張
- ▼10日/写真サロン展・女性写真公募展初日。美術館あつと〜くらぶ「木版画④」開催
- ▼11日/全日写連青森県本部主催による写真教室「モデル撮影会」開催
- ▼13日/火曜サロン開催。「手塚治虫記念館」企画展ポスター大抽選会開催
- ▼14日/「鷹山賞児童作品展」打合せのため青森出張(鷹山館長、大池)
- ▼15日/鷹山館長八戸水産高等学校において講演会
- ▼16日/七戸中央公民館主催生涯学習講座「寿大」42名様ご来館
- ▼17日/農業後継者の会23名様ご来館。七彩会油絵教室開催
- ▼19日/「第65回国際写真サロン展」第3回女性写真公募展最終日(入館者3,733名)
- ▼20日/展示替えのため臨時休館(〜22日迄)。鷹山館長六戸高等学校において講演会
- ▼22日/美術館スタッフ研修会開催

- ▼23日/常設展「鷹山宇一の世界」初日
- ▼24日/美術館あつと〜くらぶ「絵画①」開催
- ▼26日/美術館主催研修旅行「川端康成コレクション展」開催、34名参加
- ▼27日/二科会絵画部会員・森岡謙二先生一行様ご来館



- ▼28日/さくら野八戸店主主催「平山郁夫展」開催式へ鷹山館長、濱中常務理事出席
- ▼29日/鷹山館長、肢体不自由教育研究会大いにおいて講演会、「生涯学習審議会」出席のため青森出張
- ▼30日/第5回鷹山賞児童作品展応募締め切り。平山郁夫美術館長平山助成様ご夫妻ご来館、歓迎昼食会を開催

【10月】

- ▼1日/七彩会油絵教室開催
- ▼3日/「手塚展特別展示の昆虫標本返却のため青森出張(鷹山館長、大池)」
- ▼4日/鷹山館長横浜町「実年教室」において講演会
- ▼5日/青森県立郷土館・昆氏、大田原氏「東奥美術展の画家たち」展出品資料打合せのためご来館。鷹山館長青森県高等学校PTA連合会母親委員会において講演会
- ▼8日/美術館あつと〜くらぶ「木版画⑤」開催
- ▼10日/大人のためのワークショップ「銀細工」開催

- ▼12日/博物館実習生・小川淳氏実習初日(〜23日迄)
- ▼13日/鷹山館長三戸町家庭教育学級において講演会
- ▼15日/七彩会油絵教室開催。鷹山館長七戸高等学校80周年記念式典へ出席
- ▼16日/友の会役員会開催(会場:杉屋敷奥山)
- ▼17日/県立郷土館主催特別展「東奥美術展の画家たち」展資料として鷹山宇一、鳥谷嶺山平野四郎作品を貸出
- ▼18日/宮城県富合町議会議員1名様道の駅視察のためご来館
- ▼21日/第5回鷹山賞児童作品展審査会開催、審査員長濱田進先生ご来館
- ▼22日/いちよつ子くらぶ「絵画①」開催(講師:濱田進先生。鷹山館長ろうぎん1億円基金表彰式出席のため青森出張)
- ▼23日/友の会研修旅行(宮城県仙台市仙台市博物館、宮城県美術館)開催。フォルクローレ奏者ソノコ・モーシユ様ご来館
- ▼25日/鷹山館長青森県立美術館学校連携推進連絡会議出席のため青森出張
- ▼26日/下北市町村教育委員会連絡協議会23名様ご来館
- ▼29日/美術館あつと〜くらぶ「絵画②」開催

【11月】

- ▼1日/鷹山館長南部町立南部中学校において講演会
- ▼3日/鷹山館長「村上幹夫さかな素描作品展」開催記念パーティー出席のため青森出張
- ▼5日/いちよつ子くらぶ「てぬぐいづくり」開催。鷹山館長東通村連合PTA会員研修会において講演会
- ▼6日/いちよつ子くらぶ「てぬぐいづくり」開催
- ▼7日/青森県文化財保護課による小田子不動堂町指定資料調査(〜8日迄)

- ▼8日/鷹山館長百石町連合PTA研究大会において講演会
- ▼9日/鷹山館長青森銀行七戸支店百周年記念パーティーへ出席
- ▼10日/「やなせたかしの世界展」視察のため岩手県東和町へ出張(大池、古屋敷、佐伯)。消防施設管理者講習会出席のため六ヶ所村出張(鳴海、〜11日迄)
- ▼11日/第5回鷹山賞児童作品展打合せのため青森出張(鷹山館長、大池)。鷹山館長青森市立佃中学校において講演会
- ▼12日/美術館あつと〜くらぶ「木版画⑥(最終回)」記念昼食会を開催
- ▼14日/鷹山館長東津軽郡老人福祉大会、つがる市立柏中学校において講演会
- ▼15日/展示替えのため臨時休館(〜19日迄)
- ▼17日/消防設備定期点検(城栄産業)
- ▼19日/第5回鷹山賞児童作品展入賞者授賞式開催(財)日本品質保証機構から太田雄一様ご来館
- ▼20日/第5回鷹山賞児童作品展、地球環境世界児童画コンテスト優秀作品展初日(〜2006年1月29日迄)
- ▼21日/鷹山館長名久井農業高等学校PTA研修会において講演会
- ▼24日/七戸小学校1学年63名様、2学年57名様ご来館
- ▼25日/城南小学校1学年45名様ご来館。鷹山館長NHK青森放送会議出席のため青森出張。第50回二科会青森支部展を鑑賞(会場:青森市民美術展示館、鷹山館長、大池)
- ▼26日/七彩会油絵教室開催
- ▼27日/全日写連青森県本部主催モデル撮影会表彰式開催(2F工房)。鷹山館長新七戸町誕生記念式典へ出席
- ▼29日/城南小学校3学年40名来館。県立郷土館へ貸出の資料返却。鷹山館長民生委員児童委員研修会において講演会

2006年が皆様にとほして佳き1年となりませう心よりお祈り申し上げます

七彩会へのお誘い

代表 盛田駿造

毎月第一、第三土曜日の午前十時に七彩会会員の皆さんが、鷹山宇一記念美術館の二階工房に集まっています。油絵の勉強会です。

美術館の開館から五年たった平成十一年六月に、美術館と友の会共催による「油絵教室」が、十名の参加者を得て、全十回開催されました。講師は、小川敏雄先生にお願いしました。油絵教室開催の動機は単純でした。美術館で本物の油絵を鑑賞し、感動し、自分達も絵筆を握ってみたい。風景や静物等を描いてみたい。美しいものに出会った感動を形に表現したい。こうした気持ちで勉強会の開催を強く働きかけたのが七彩会の中心的存在である大浦鉄男さんでした。さっそく美術館と友の会に相談して開催の運びとなりました。又、イーゼルは美術館常務理事の濱中達男さんから寄贈して頂きました。

油絵教室が終了した十月に、このまま解散するのはもったいなく、引き続き勉強会を続けることになり、名称を「七彩会」として今日まで継続しております。

当初は6号、8号程度のキャンバスに描いておりましたが、最近では50号、100号を描く会員もいて、



「七戸町産業文化まつり」会場で展示作業を終えほっと一息

随分と活発になってきました。毎年七戸町産業文化まつりの場を利用し

て作品の発表を行っております。又、嬉しいことに、今年は青森県美術展覧会に六名、二科展に二名が入選しました。

七彩会発足から十周年に当たる平成二十一年には、大きな会場での発表会を計画しております。

油絵の何たるかも分からない生徒をここまで指導して下さった小川先生に感謝しております。今後ともご指導をお願い致します。

生涯学習の一環として、多くの人から七彩会に入会いただき、共に油絵を勉強してまいりたいと念願しております。来年は「油絵入門コース」も開設する予定です。会員の皆様のご参加をお待ちしております。

【お問い合わせ先 美術館気付

七彩会 代表 盛田駿造】

青森放送株式会社主催

「あおもり世界の蘭展」

●●● 開催のご案内 ●●●

■会 期■

平成18年3月17日(金)～3月22日(水)

午前9時30分～午後4時30分

■会 場■

新青森県総合運動公園【青い森アリーナ】

2004年、多くの来場者で賑わい大盛況だった「世界の蘭展」が、2006年3月、再び青森で開催されます。

当館で前売券をお取り扱いしております。ご活用のうえ、是非お出掛けください。また、当館主催「あおもり世界の蘭展バスツアー」も企画いたしました。詳細は同封のチラシのとおりです。お問い合わせのうえ是非ご参加ください！！

当日券 前売券

¥1,500→¥1,200

※中学生以下は無料です

前売券・バスツアーのお問い合わせは、美術館(電話0176-62-5858)までどうぞ！！



下北半島 尻屋崎への写生旅行

第3回友の会海外研修旅行2007年6月フランス美術紀行 南仏、パリ「名画の風景と印象派を訪ねて」締め切りました

友の会第3回海外研修旅行「南仏、パリ名画の風景と印象派を訪ねて」は、会員の皆様から大変ご好評を頂き、このほど定員の300名を満了し、募集を締め切りました。お申し込み頂いた方々本当にありがとうございます。
今回はニースの「マチス美術館」をご紹介します。



ここではマチスの初期から晩年までの絵画やデッサンなどの他、彼が愛用した品々も展示されていて、偉大な画家の素顔に近づくことができます。

(AB-ROAD.netより)

「色彩の魔術師」と呼ばれ、現代美術に多大な影響を与えているマチス。ローマ時代の円形闘技場の公園内にある「マチス美術館」は、個人美術館の多いニース周辺でもとくに人気の高い充実した美術館です。



友の会会員登録の更新と 新規会員登録のお誘い

本年も会員の皆様には、友の会運営に多大なお力添えをいただき、誠に有難うございます。

新しい年も鷹山宇一記念美術館の応援と会員の皆様方に芸術・文化の一層親しんでいただけたら幸いです。研修旅行・講演会などを企画し、微力ながらも地域文化に寄与していく所存でございます。皆様には一層のご理解とご協力を賜りたく、引き続き会員登録の更新をお願い申し上げます。なお、更新手続きは、美術館窓口と同封の郵便振替により随時行っております。

○一般会員

会費(個人)

年度会費3千円

特典

①無料入館券3枚。会員証提示により入館料2割引

②ミュージアムグッズ1割引(対象外有)

③研修会、講演会への招待、優待

④他美術館等の視察研修への優待参加

⑤会報の配布

○特別会員

会費(個人・法人) 年度会費1万円

特典 一般会員特典に加えて

①会員証提示により個人・法人会員とも本人及び同伴者1名まで無料入館

②新規加入の方に画集1冊贈呈

○賛助会員

会費(個人・法人) 年度会費2万円

特典 一般会員特典に加えて

①会員証提示により個人・法人会員とも本人及び同伴者3名まで無料入館

②新規加入の方に画集1冊贈呈

③特別企画展の都度、招待券を贈呈

■詳しくは、美術館までお問い合わせ下さい。

DVD・LD「世界の美術館」ソフト貸出のお知らせ

★美術館が購入した「世界の美術館」シリーズのDVD・LDソフトを会員の皆様にお貸しして下さるようになりました。
★フレッド・ループル：ウフィツィ・エルミタージュ美術館など世界の美術館シリーズです。ご希望の方は、美術館までご連絡下さい。なお、貸出は直接貸出のみで致しません。

編集後記

★海外研修、募集定員を満了しほっとしていたところフランス各地で暴動の報道。早く治ると急ぎました。ようやく落ち着きました。たよんで安心です。
★今年の冬は、雪が多く、かなり寒いようです。インフルエンザなど、皆様もお気を付けて下さい。
★2006年は成年わずか数回目の年男なのに……。
皆様にとって良い年でありました。ありがとうございました。

(E.T.)